



平成19年12月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成19年5月7日

上場会社名 **アース製薬株式会社**（コード番号：4985 東証第一部）

(URL <http://www.earth-chem.co.jp>)

代表者 代表取締役社長 氏名 大塚 達也

問合せ先責任者 役員待遇経営企画部部長 氏名 下川 善通 TEL：(03)5207-7456

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容) 1. 棚卸資産については実地棚卸を行わず、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎とする帳簿残高によって算定しております。
 2. 法人税等の会計処理については、一部簡便な方法により税金費用を算定しております。
 3. その他影響額が僅少な項目につき、一部簡便な方法を採用しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年12月期第1四半期財務・業績の概況（平成19年1月1日～平成19年3月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年12月期第1四半期	18,633	(16.9)	2,017	(90.2)	2,101	(82.2)	1,125	(108.9)
18年12月期第1四半期	15,941	(7.6)	1,060	(200.0)	1,153	(173.8)	538	(217.1)
(参考) 18年12月期	84,410		4,881		5,380		2,439	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年12月期第1四半期	56	68	56	19
18年12月期第1四半期	27	76	27	16
(参考) 18年12月期	124	87	122	84

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期におけるわが国の経済は、引き続き好調な企業業績を背景に設備投資の増加や雇用環境の好転が見られ、また個人消費が底堅く推移するなど、緩やかながら回復基調で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、家庭用品事業におきましては数多くの高付加価値新製品を発売するとともに、更なる営業力の強化及び生産の効率化を図るなど収益力の向上に努めてまいりました。また、総合環境衛生事業におきましては新規領域の顧客の開拓など、積極的な営業活動を展開してまいりました。

以上の結果、当第1四半期における売上高は186億33百万円(前年同期比16.9%増)、営業利益は20億17百万円(前年同期比90.2%増)、経常利益は21億1百万円(前年同期比82.2%増)、四半期純利益は11億25百万円(前年同期比108.9%増)となりました。

なお、当社グループ売上高の構成比が高い殺虫剤は、本格的な出荷の開始が第1四半期の3月から第2四半期に入った4月頃となるため、天候等の要因により第1四半期の業績は年度によって変動いたします。また、売上高は上半期に偏るという季節変動要因がある一方、人件費等の固定費は年間を通してほぼ均等に発生するため、四半期毎の売上高や利益には著しい相違があります。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

家庭用品事業

主力の殺虫剤部門におきましては、製品ラインナップを充実させる新製品を数多く発売したことや、暖冬の影響で小売店での売場展開が早まったことなどにより出荷が好調に進み、売上高は71億22百万円(前年同期比25.3%増)となりました。

日用品部門におきましては、新製品やリニューアル品の寄与により、売上高は74億74百万円(前年同期比14.1%増)となりました。特に、新製品の歯磨き剤「アクアフレッシュ エクストリーム クリーン ホワイトニング」や、前年秋季発売の入浴剤「バスロマンbihada」及び消臭芳香剤「花咲きポット」が好調に推移し、売上拡大に寄与しました。また、全面的にリニューアルした車用除菌消臭剤「車内のニオイとり」も順調に出荷され、売上増に貢献しました。

以上の結果、その他製商品部門を含め、当事業における売上高は150億68百万円(前年同期比19.2%増)となりました。また、売上拡大に伴い売上総利益が大幅に増加した一方で、販売管理費は微増で推移し、営業利益は19億15百万円(前年同期比130.0%増)となりました。

総合環境衛生事業

総合環境衛生事業では、食品関連工場向けの独自の品質保証システムや医薬・化粧品工場に特化したサービスの提供を推進し、新規顧客の獲得に努めました。既存の顧客に対しては定期的な満足度調査によりサービスの質の向上を図り、取引の拡大に努めました。

以上の結果、当事業における売上高は35億64百万円(前年同期比8.1%増)となりました。また、売上伸長に伴い売上総利益が増加したものの、人件費等の販売管理費も増加したため、営業利益は2億61百万円(前年同期比31.5%減)となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年12月期第1四半期	65,668	37,961	52.6	1,739 88
18年12月期第1四半期	59,353	31,947	53.8	1,646 85
(参考) 18年12月期	60,045	37,876	57.5	1,738 39

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年12月期第1四半期	△4,729	610	△1,196	7,448
18年12月期第1四半期	△7,165	△899	△889	8,324
(参考) 18年12月期	1,528	△5,935	△185	12,743

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、前連結会計年度末と比べ56億22百万円増加し656億68百万円となりました。これは主に、当社グループの主力事業である家庭用品事業の備蓄用在庫や売上債権の増加によるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比べ84百万円増加し379億61百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末より4.9ポイント減少の52.6%となりました。

(連結キャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は47億29百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が20億96百万円、仕入債務の増加が49億35百万円ありましたが、売上債権の増加が77億19百万円、棚卸資産の増加が41億11百万円あったことなどによるものです。

投資活動の結果、獲得した資金は6億10百万円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が2億94百万円ありましたが、運用目的の有価証券の売却による収入が12億55百万円あったことなどによるものです。

財務活動の結果、使用した資金は11億96百万円となりました。これは主に、配当金の支払が11億91百万円あったことによるものです。

以上の結果、当第1四半期における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ52億95百万円減少し、74億48百万円となりました。

○添付資料

(要約) 四半期連結貸借対照表、(要約) 四半期連結損益計算書、(要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報

以上

[参考]

平成19年12月期の連結業績予想(平成19年1月1日～平成19年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	53,548	7,969	4,441
通期	86,362	5,495	2,773

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 139円67銭

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

[業績予想に関する定性的情報等]

当第1四半期連結業績は、当初の予定を大幅に上回りました。これは主に、暖冬の影響などで殺虫剤の出荷が予定より早まったためであり、現時点では平成19年2月15日発表の中間期及び通期の連結業績予想に変更はありません。

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成18年12月期 第1四半期末)		当四半期 (平成19年12月期 第1四半期末)		増 減 金 額	(参考) 平成18年12月期	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(資産の部)							
I 流動資産	39,120	65.9	44,539	67.8	5,418	39,084	65.1
1. 現金及び預金	8,142		9,364		1,221	8,843	
2. 受取手形及び売掛金	12,768		17,415		4,646	9,674	
3. 有価証券	378		517		139	7,417	
4. 棚卸資産	15,668		15,057		△610	10,928	
5. その他	2,161		2,184		22	2,220	
II 固定資産	20,233	34.1	21,129	32.2	896	20,961	34.9
1. 有形固定資産	14,950		15,505		554	15,428	
2. 無形固定資産	663		667		4	770	
3. 投資その他の資産	4,618		4,956		337	4,762	
資産合計	59,353	100.0	65,668	100.0	6,315	60,045	100.0
(負債の部)							
I 流動負債	21,919	36.9	25,077	38.2	3,158	19,521	32.5
1. 支払手形及び買掛金	14,602		16,603		2,000	11,650	
2. 未払金	4,638		5,144		505	4,620	
3. その他	2,677		3,329		652	3,250	
II 固定負債	2,722	4.6	2,628	4.0	△93	2,647	4.4
1. 退職給付引当金	1,897		1,685		△212	1,735	
2. その他	824		943		119	911	
負債合計	24,641	41.5	27,706	42.2	3,065	22,169	36.9
(少数株主持分)							
少数株主持分	2,764	4.7	—	—	—	—	—
(資本の部)							
I 資本金	2,817	4.7	—	—	—	—	—
II 資本剰余金	2,608	4.4	—	—	—	—	—
III 利益剰余金	25,556	43.1	—	—	—	—	—
IV その他有価証券評価差額金	950	1.6	—	—	—	—	—
V 為替換算調整勘定	16	0.0	—	—	—	—	—
VI 自己株式	△3	△0.0	—	—	—	—	—
資本合計	31,947	53.8	—	—	—	—	—
負債、少数株主持分 及び資本合計	59,353	100.0	—	—	—	—	—

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成18年12月期 第1四半期末)		当四半期 (平成19年12月期 第1四半期末)		増 減 金 額	(参考) 平成18年12月期	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(純資産の部)							
I 株主資本	—	—	33,433	50.9	—	33,499	55.8
1. 資本金	—	—	3,136	4.7	—	3,136	5.2
2. 資本剰余金	—	—	2,927	4.5	—	2,927	4.9
3. 利益剰余金	—	—	27,374	41.7	—	27,440	45.7
4. 自己株式	—	—	△4	△0.0	—	△4	△0.0
II 評価・換算差額等	—	—	1,109	1.7	—	1,013	1.7
1. その他有価証券評価差額金	—	—	849	1.3	—	825	1.4
2. 為替換算調整勘定	—	—	260	0.4	—	188	0.3
III 少数株主持分	—	—	3,419	5.2	—	3,363	5.6
純資産合計	—	—	37,961	57.8	—	37,876	63.1
負債純資産合計	—	—	65,668	100.0	—	60,045	100.0

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成18年12月期 第1四半期)		当四半期 (平成19年12月期 第1四半期)		増 減 金 額	(参考) 平成18年12月期	
	金 額	百分比	金 額	百分比		金 額	百分比
I 売上高	15,941	100.0	18,633	100.0	2,691	84,410	100.0
II 売上原価	9,252	58.0	10,435	56.0	1,183	50,419	59.7
売上総利益	6,689	42.0	8,197	44.0	1,507	33,990	40.3
III 販売費及び一般管理費	5,628	35.3	6,180	33.2	551	29,108	34.5
営業利益	1,060	6.7	2,017	10.8	956	4,881	5.8
IV 営業外収益	107	0.6	101	0.6	△5	562	0.7
1. 受取利息	11		24		12	71	
2. 受取配当金	0		0		0	33	
3. ロイヤリティ収入	3		1		△1	17	
4. 受取家賃	41		39		△1	163	
5. その他	50		35		△14	276	
V 営業外費用	14	0.1	17	0.1	2	64	0.1
1. 支払利息	0		0		0	6	
2. 手形売却損	—		0		0	10	
3. 棚卸廃棄損失	0		8		8	25	
4. その他	13		7		△5	21	
経常利益	1,153	7.2	2,101	11.3	947	5,380	6.4
VI 特別利益	50	0.3	1	0.0	△49	58	0.1
1. 固定資産売却益	1		0		△0	7	
2. 投資有価証券売却益	—		0		0	0	
3. 貸倒引当金戻入益	—		—		—	49	
4. 退職給付引当金戻入益	48		—		△48	—	
5. その他	—		—		—	0	
VII 特別損失	106	0.6	5	0.0	△101	409	0.5
1. 固定資産売却損	6		4		△2	69	
2. 減損損失	89		—		△89	89	
3. 投資有価証券評価損	—		—		—	2	
4. 持分変動損	—		—		—	241	
5. ゴルフ会員権評価損	—		—		—	0	
6. その他	10		0		△10	4	
税金等調整前 四半期(当期)純利益	1,096	6.9	2,096	11.3	1,000	5,029	6.0
税金費用	470	3.0	910	4.9	440	2,204	2.6
少数株主利益	87	0.5	61	0.4	△26	384	0.5
四半期(当期)純利益	538	3.4	1,125	6.0	586	2,439	2.9

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

3. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前年同四半期 (平成18年12月期 第1四半期)	当四半期 (平成19年12月期 第1四半期)	(参考) 平成18年12月期
区 分	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税金等調整前四半期(当期)純利益	1,096	2,096	5,029
2. 減価償却費	252	285	1,120
3. 売上債権の増加額	△4,781	△7,719	△1,482
4. 棚卸資産の増加額	△4,855	△4,111	△80
5. 仕入債務の増減額 (△は減少)	2,044	4,935	△935
6. その他	△234	629	△242
小計	△6,477	△3,882	3,408
7. 利息及び配当金の受取額	12	24	102
8. 利息の支払額	△0	△0	△6
9. 法人税等の支払額	△698	△870	△1,976
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,165	△4,729	1,528
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 有価証券の取得による支出	△3	△151	△1,338
2. 有価証券の売却による収入	90	1,255	341
3. 有形固定資産の取得による支出	△388	△294	△1,572
4. 有形固定資産の売却による収入	2	12	18
5. 投資有価証券の取得による支出	△297	△178	△766
6. 投資有価証券の売却による収入	0	0	5
7. 貸付けによる支出	△0	—	△0
8. 貸付金の回収による収入	3	—	14
9. 定期預金の預入による支出	—	—	△2,100
10. 長期定期預金の預入による支出	△100	—	△100
11. その他の投資活動による支出	△215	△40	△466
12. その他の投資活動による収入	9	7	29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△899	610	△5,935
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 長期借入による収入	88	—	92
2. 長期借入金の返済による支出	△4	—	△4
3. 株式の発行による収入	—	—	637
4. 少数株主への株式の発行による収入	—	—	120
5. 自己株式の取得による支出	△1	△0	△2
6. 配当金の支払額	△969	△1,191	△969
7. 少数株主に対する配当金の支払額	△3	△5	△57
財務活動によるキャッシュ・フロー	△889	△1,196	△185
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	18	19	76
V 現金及び現金同等物の減少額	△8,935	△5,295	△4,515
VI 現金及び現金同等物の期首残高	17,259	12,743	17,259
VII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	8,324	7,448	12,743

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

4. セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前年同四半期(平成18年12月期第1四半期)

	家庭用品事業 (百万円)	総合環境衛生 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	12,643	3,297	15,941	—	15,941
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	101	32	134	(134)	—
計	12,745	3,330	16,076	(134)	15,941
営業費用	11,913	2,948	14,862	18	14,880
営業利益	832	381	1,214	(153)	1,060

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な内容

- (1) 家庭用品事業 家庭用品(殺虫剤及び日用品(洗口液、義歯関連用品、歯磨き用品、入浴剤、芳香洗淨剤等))、防疫・農林畜産薬剤、海外向け殺虫剤原材料の製造販売及び仕入販売
- (2) 総合環境衛生事業 工場、病院等の衛生管理サービス

当四半期(平成19年12月期第1四半期)

	家庭用品事業 (百万円)	総合環境衛生 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	15,068	3,564	18,633	—	18,633
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	77	35	112	(112)	—
計	15,146	3,599	18,745	(112)	18,633
営業費用	13,231	3,338	16,569	46	16,615
営業利益	1,915	261	2,176	(159)	2,017

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な内容

- (1) 家庭用品事業 家庭用品(殺虫剤及び日用品(洗口液、義歯関連用品、歯磨き用品、入浴剤、芳香洗淨剤等))、防疫・農林畜産薬剤、海外向け殺虫剤原材料の製造販売及び仕入販売
- (2) 総合環境衛生事業 工場、病院等の衛生管理サービス

(参考)平成18年12月期

	家庭用品事業 (百万円)	総合環境衛生 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	69,962	14,448	84,410	—	84,410
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	525	163	688	(688)	—
計	70,487	14,611	85,099	(688)	84,410
営業費用	66,279	13,098	79,378	149	79,528
営業利益	4,207	1,512	5,720	(838)	4,881

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な内容

- (1) 家庭用品事業 家庭用品(殺虫剤及び日用品(洗口液、義歯関連用品、歯磨き用品、入浴剤、芳香洗剤等))、防疫・農林畜産薬剤、海外向け殺虫剤原材料の製造販売及び仕入販売
- (2) 総合環境衛生事業 工場、病院等の衛生管理サービス

[所在地別セグメント情報]

前年同四半期(平成18年12月期第1四半期)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当四半期(平成19年12月期第1四半期)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

(参考)平成18年12月期

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前年同四半期(平成18年12月期第1四半期)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当四半期(平成19年12月期第1四半期)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(参考)平成18年12月期

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。